

# 雨水ポンプ場の整備により 雨水を河川へ速やかに排除し、浸水被害を軽減

3か年緊急対策

5か年加速化対策

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

災害時の効果発揮事例

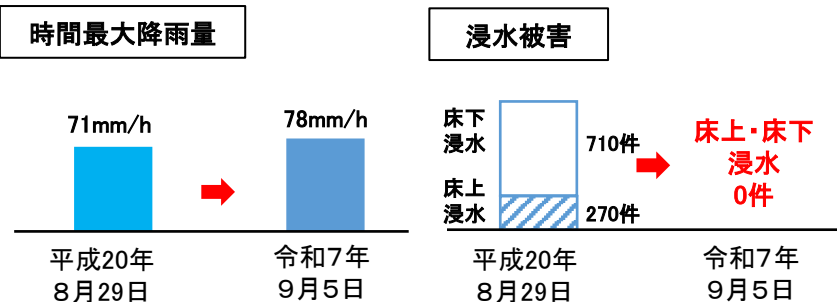
概要: 気候変動の影響や都市化の進展による内水氾濫の発生リスク増大を受け、浸水リスクが高い地区にて下水道による都市浸水対策を実施した結果、令和7年9月5日の大雨時の浸水被害を防止した。

対策名: 1-2 流域治水対策(下水道) <5か年加速化対策> 【国土交通省】

- 実施主体: 愛知県岡崎市
- 実施場所: 愛知県岡崎市(六名地区)
- 事業概要: 当該地区は、平坦な地形のため浸水常襲地区であり、過去にも浸水被害が発生した。本事業は床上浸水被害を軽減することを目的とし、六名雨水ポンプ場及び六名放流渠(令和5年4月供用開始)を整備したものの。
- 事業費: 約53億円

| 主な事業                | 事業費   | 実施期間  |
|---------------------|-------|-------|
| ポンプ場整備事業            | 約53億円 | R1~R4 |
| うち3か年緊急対策及び5か年加速化対策 | 約6億円  | R1~R4 |

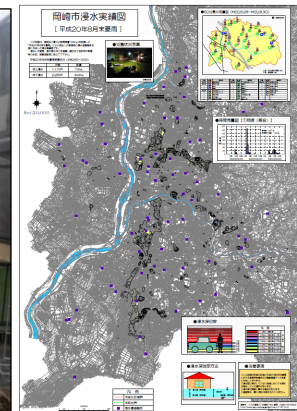
- 災害の外力、被害と効果: ※時間最大降雨量  
平成20年8月29日の大雨(71mm/h※)では、当該地区で床上浸水270戸、床下浸水710戸もの甚大な被害が発生したが、雨水ポンプ場の整備により、令和7年9月5日の大雨(78mm/h※)では、床上・床下浸水の被害がなく、浸水被害を防止。



浸水状況(平成20年8月29日)



浸水状況(令和7年9月5日)



内水ハザードマップ

- 関連施策: ソフト対策として内水ハザードマップを作成・公表。

# 社会福祉施設等の水害対策強化整備

5か年加速化対策

国土強靱化

災害時の効果発揮事例

NATIONAL RESILIENCE

概要: 土砂災害特別警戒区域内に所在した共同生活援助事業所について、豪雨災害時も安全に生活できるよう、移転改築整備を実施した。これにより、令和7年9月5日台風15号による建物被害及び人的被害を免れた。

対策名: 23-3 社会福祉施設等の耐災害性強化対策(水害対策強化対策) <5か年加速化対策>【厚生労働省】

- 実施主体: 静岡県
- 実施場所: 静岡県伊東市
- 事業概要:

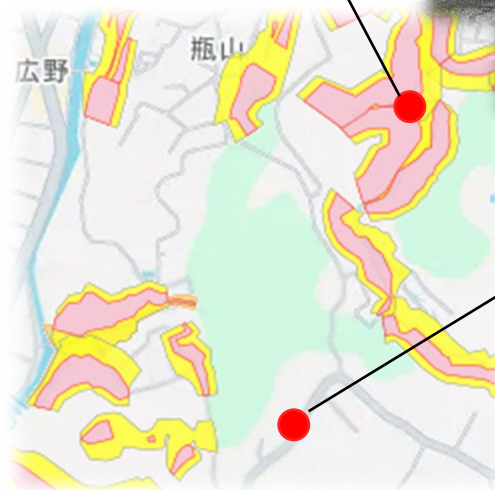
土砂災害特別警戒区域内に所在した共同生活援助事業所について、迅速な避難が難しい高齢の利用者や足が不自由な利用者が豪雨災害時も安全に生活できるよう、移転改築整備を実施した。

- 事業費: 125,400千円(令和4年度)  
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)20,500千円)
- 災害の外力、被害と効果:

令和7年9月5日台風15号において、静岡県には線状降水帯による非常に激しい雨が降り、伊東市においては、連続雨量300mmを超える豪雨を記録した地域もあった。移転改築前の当該共同生活援助事業所敷地は土砂災害特別警戒区域に位置しており、今回の災害において、移転前の区域では河川氾濫や小さながけ崩れが生じていた。しかし、本補助金を活用し、令和5年12月に移転改築整備を完了させていたため、今回災害における建物被害及び人的被害を免れることができた。



移転前所在地



移転先

※静岡県土砂災害警戒区域マップ  
静岡県地理情報システム(GIS)より

**概要** 要: 灯台の基礎部に海水等が浸入する環境を遮断する対策を実施した結果、台風第15号の際も倒壊、損壊することなく航路標識の機能を維持し船舶交通の安全を確保した。

**対策名**: 135 全国の航路標識に関する緊急対策(海水浸入防止対策等) <3か年緊急対策>【国土交通省】

- **実施主体**: 海上保安庁 第三管区海上保安本部
- **実施場所**: 静岡県伊東市(富戸港南防波堤灯台)
- **事業概要**: 平成30年の台風第24号等による灯台の倒壊、損壊を踏まえ、灯台の亀裂や基礎部の隙間から海水の浸入を防止する海水浸入防止対策を実施している。  
本灯台では、倒壊、損壊を未然に防ぐため、航路標識の基礎部に海水等が浸入する環境を遮断し、アンカーボルトの腐食を防ぐ対策を実施した。
- **事業費**: 全体事業費 約0.03億円(令和元年度)  
(うち3か年緊急対策 約0.03億円)
- **災害の外力、被害と効果**: 令和7年台風第15号では、暴風を伴う激波浪(波高約4m)を近傍海域で観測したが、本灯台は倒壊、損壊することなく安定した航路標識としての機能を維持した。

対策前



対策後



基礎部に海水が浸入しアンカーボルトの腐食により倒壊するおそれがある



▲海水の浸入を防止(環境遮断)

| 指 標                             | R6<br>(実績) | R7<br>(目標値) |
|---------------------------------|------------|-------------|
| 海水浸入防止対策が必要な航路標識<br>(461箇所)の整備率 | 93%        | 100%        |

# 排水機場の長寿命化対策による浸水被害の防止、軽減

5か年加速化対策

災害時の効果発揮事例

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

概要 要:老朽化に伴い機能低下している排水機場の長寿命化対策を実施したことにより、令和7年の台風第15号による大雨において24時間雨量134mmを記録したものの、周辺地域の湛水被害を防止した。

対策名:91 農業水利施設等の老朽化、豪雨・地震対策< 5か年加速化対策>【農林水産省】

- 実施主体:三重県
- 実施場所:三重県松阪市  
(高須(旧)排水機場、高須新田排水機場)
- 事業概要:老朽化に伴い機能低下していた排水機場の長寿命化対策を実施  
(排水能力の回復:3.9m<sup>3</sup>/s → 5.1m<sup>3</sup>/s)
- 事業費:約6.6億円

| 主な事業                    | 実施内容       | 事業費    | 実施期間  |
|-------------------------|------------|--------|-------|
| 用排水施設等整備事業<br>(湛水防除事業)  | 排水機場の整備・更新 | 約6.6億円 | R1~R5 |
| うち5か年加速化対策<br>(加速化・深化分) | 排水機場の整備・更新 | 約2.6億円 | R2~R4 |

## ■ 災害の外力、被害と効果:

令和7年の台風第15号において、松阪市では24時間雨量134mm、最大1時間雨量30mmを記録したものの、排水機場の長寿命化対策を実施したことにより排水能力が回復し、農地や農業水利施設への被害を防止した。

※排水機場・・・農地等の湛水被害を防止するため、降雨等により増水した水をポンプで河川等に排水する施設。

## 事業実施前

平成29年台風第21号による湛水被害



※排水受益から高須(旧)排水機場を望む

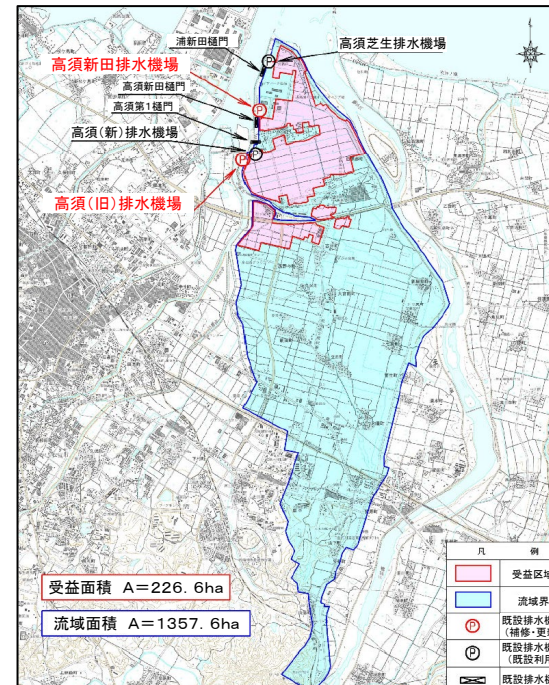
## 事業実施後

被害なし



※高須(旧)排水機場から排水受益を望む

## 位置図



※受益面積は基準雨量における事業実施前の想定湛水被害面積



横軸軸流ポンプφ1200  
(事業実施後)

## 高須(旧)排水機場、高須新田排水機場の排水機能

|                          |                                |
|--------------------------|--------------------------------|
| 基準雨量<br>( ):対策前の<br>推定値※ | 3日連続雨量<br>367.8mm<br>(294.2mm) |
| 浸水被害<br>軽減範囲             | 農地 35.1ha                      |

※長寿命化対策実施前の能力低下状況を踏まえた雨量の推定値

# 線状降水帯の予測精度向上により早期の防災対応に寄与

5か年加速化対策

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

災害時の効果発揮事例

**概要** 要：線状降水帯の予測精度向上のため、線状降水帯に関する情報を段階的に改善。令和7年9月4日には、大分県・宮崎県に絞り込み線状降水帯の大雨の可能性を半日前から呼びかけ、防災対応の早期実施に寄与した。  
**対策名**：113 線状降水帯の予測精度向上等の防災気象情報の高度化対策<5か年加速化対策>【国土交通省】

■ 実施主体：気象庁

■ 実施場所：全国

■ 事業概要：

・水蒸気観測機器の整備や強化したスーパーコンピュータを活用した予測技術の開発等を進め、線状降水帯に関する情報を段階的に改善。令和6年には、線状降水帯による大雨の可能性の半日前からの呼びかけの対象地域を地方単位から府県単位に絞り込み。

・令和7年9月4日明け方発表の気象情報において大分・宮崎両県に絞り込んで呼びかけ実施。

■ 事業費：約223億円（令和6年度補正予算）  
 ※すべて5か年加速化対策（加速化・深化分）

■ 効果：

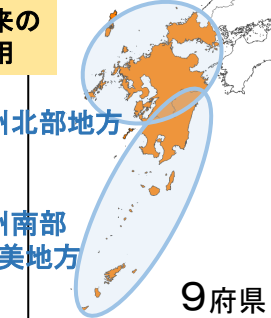
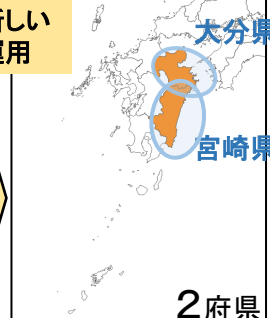
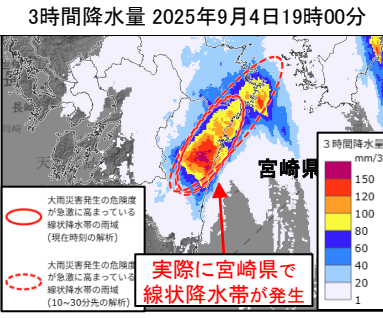
4日昼前には、大分・宮崎両地方気象台から防災関係機関への説明会で、線状降水帯による大雨の可能性を説明。実際に宮崎県では線状降水帯が発生し、大分県でも3時間雨量190mmの大雨。両県における関係機関の防災対応の早期実施に寄与。

## 線状降水帯に関する情報の改善

|      | 半日前予測<br>半日前からの呼びかけ   | 直前予測<br>確度の高い直前の予測  | 発生情報  |
|------|---|---|---|
| 文章情報 | 令和4年 地方単位で予測<br>↓<br>令和6年 府県単位で発生を半日前に予測<br>○○県では、○○から○○にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。   | 予定<br>令和8年 ○○県北部などの一次細分区域単位で線状降水帯となる2～3時間前を目標に予測<br>○○県北部では、今後3時間以内に線状降水帯が発生し、非常に激しい雨が同じ場所で降り続く可能性が高まっています。命に危険が及ぶ災害の危険度が非常に高まるおそれがあります。            | 令和3年 ○○県北部などの一次細分区域単位で線状降水帯の発生をお知らせ + 追加<br>令和5年 最大30分程度前倒し<br>○○県北部では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。命に危険が及ぶ災害発生の危険度が急激に高まっています。                                  |
| 図情報  | 予定<br>令和11年 線状降水帯発生による大雨の可能性が高い市町村を把握できる格子形式の分布図を表示※1<br> | 予定<br>令和8年 線状降水帯となり、災害をもたらす大雨のおそれがある大まかな領域を2～3時間前を目標に図情報で表示<br> | 令和3年 線状降水帯の雨域を楕円で表示 最大30分程度前倒しで解析した結果も楕円で表示（令和5年～）<br>「雨雲の動き」「今後の雨」に楕円を表示<br> |

## 府県単位に絞り込んで発表した事例

・大分県、宮崎県に、半日前から線状降水帯の呼びかけを実施（令和7年9月）

|  |   |   |
|--|---|---|
| <b>従来の運用</b><br><br>九州北部地方<br>九州南部・奄美地方<br>9府県<br>呼びかけの対象地域<br>※鹿児島県では奄美地方を区別して発表 | <b>新しい運用</b><br><br>大分県<br>宮崎県<br>2府県<br>呼びかけの対象地域 | 3時間降水量 2025年9月4日19時00分<br><br>3時間降水量 mm/3h<br>150<br>120<br>100<br>80<br>60<br>40<br>20<br>1<br>大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域（現在時刻の解析）<br>大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域（10～30分先の解析）<br>実際に宮崎県で線状降水帯が発生 |
|--|---|---|